

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アステリズム		
○保護者評価実施期間	令和6年 2月 1日 ～ 令和6年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日 ～ 令和7年 3月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動のプログラムが固定化されないようにしている。	所外活動を積極的に取り入れている。また、所内での活動においても、自己選択・自己決定ができるような提案ができるように心掛けている。	利用児童の年齢に差があるため、低学年向けの活動、高学年向けの活動を同日に行えるような取り組みを行いたい。
2	日々の支援における記録やスタッフ内での情報の共有が出来ており、一貫した対応が出来ている。	業務における担当はなく、全スタッフが同様に取り組むことができる育成をしている。	個々のスキルアップのための研修や資格取得を推進し、全体的な支援力の底上げを行いたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流や地域との交流の機会が少ない。	保護者交流においては、各ご家庭の事情等に十分に配慮することが必要。また、地域交流については、福祉サービスの啓発活動が不足している。	年間の行事予定などの早期配布を検討し、まずは参加の可否についての情報収集を行う必要がある。また、SNS等での情報の発信や、ご家庭への情報提供の方法を検討していく。
2	ハード面におけるバリアフリー化ができていない。	専用の建物ではないため、トイレや手洗い場等の段差や高さにおいては、配慮の限界がある。	簡易的な改修も検討する必要があるが、まずは安全を確保するための各スタッフの動きについても再度検討が必要。
3			